

地域

家庭

学校

みんなで子どもを育てる
コミュニティ・スクール令和8年9月発行
小樽市立朝里中学校
学校運営協議会事務局

CSかわら版

朝夕はすっかり秋めいてまいりました。8月26日に開催された第5回CS会議では、生徒の陸上日本新記録という嬉しいニュースをはじめ、秋の防災講演会や地域での温かい見守り活動について話し合いました。学校と地域が連携して子どもたちの成長と安全を支える取り組みの様子を、皆様にお届けします。

子どもたちの嬉しいニュース 幅跳び日本一 とのんびり野菜たち

中学3年生の男子生徒が、走り幅跳びで**無風の中、なんと7m41cmの中学生日本新記録**を叩き出し、見事日本一になりました！プレッシャーのかかる大舞台でも、しっかりと風を読み切る強さがあり、これからの活躍も本当に楽しみです。また、毎年恒例の総合学級菜園ですが、今年は夜の冷え込みが強く、昼との温度差が激しい「昔の北海道らしい気候」に戻ったせいか、野菜の収穫量が少なめです。秋には、自分たちで育てた野菜で、調理実習を行う予定です。



アンケートから見た、親子の本音

保護者のみなさんに書いていただいた学校評価アンケートの結果についても共有がありました。子どもたちの「ルールを守る姿勢」や「思いやり」は高く評価されています。一方で、「**お子さんは、自己肯定感が高い**」に対する**答えが低めなこと**や、**お家での勉強への声かけが減っている**ことが課題であると話題になりました。今回の回収率は「37.2%」と少し寂しい数字でした。スマホなどで簡単に答えられるようになった分、つい後回しになってしまうのかもしれませんが。次はPTAとも協力して、回収率50%を目指して呼びかけていきます。

アジサイに愛を込めて！中学生と大人が汗を流した夏のひとコマ

8月22日に、PTAやCSメンバー、中学生たちが集まって草取りと水やりを行いました。除草剤もうまく使って効率よく作業できましたが、今年は雨が少なかったせいか、アジサイが少し枯れ気味（茶色く）になっており、今後の様子を見守っています。

リアルな防災の話：川の危険と、若い世代の力

10月25日(日)に行われる防災訓練（避難所運営ゲーム「DoHUG」や自衛隊のカレー炊き出しの試食など）を前に、地域のリアルな防災の課題について熱い意見が交わされました。「**実際に災害が起きたら、誰が動く？**」「**町内会の役員はみんな高齢化していて、実際に動くのは難しい。中学生は避難所の大きな戦力になってくれるけれど、一緒に動ける若いお父さん・お母さん世代がもっと訓練に参加して、防災の大切さを知ってほしい**」という、切実な意見が出ました。

防災訓練の申し込みはこちら <https://forms.gle/ZvR4iN1kzxAjiSyGa>



地域のみなさんへ 子どもたちがどこにいても「自分はここにいていいんだ」と思える場所を、一緒に作っていきませんか？CS（学校運営協議会）は、地域のみなさんの声でできています。特別な知識はいりません。散歩のついでに感じたこと、子どもの登下校を見て気づいたこと、どんな小さなことでも結構です。あなたの声が、私たちの学校を、もっと「みんなの学校」へと変えていきます。CSは地域のみなさんの声でできています。